

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 尿路結石症の治療成績と予後解析に関する後方視的研究

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 古瀬洋 (泌尿器科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：西暦2021年12月24日～西暦2026年3月まで

目的：尿路結石症に関しては、同じ病気であっても外科治療の選択肢が複数あります。また、尿路結石症は治療だけでなく予防も重要とされています。この研究では、医療の現状を明らかにし、どのような特徴を持つ場合にどの治療が最も有効であるか等を、患者さんのカルテデータから明らかにすることを目的とします。

方法：診療録情報を用いる後方視的研究

■ 対象となる患者さん

当院で尿路結石症と診断され、2000年～2026年までの期間に通常診療により外科治療あるいは薬物療法を受けた方。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：

研究対象者背景：年齢、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、家族歴、生活歴、服薬状況

身体所見：身長、体重、血圧、脈拍、体温、呼吸数、SP02

臨床検査：血液学的検査（白血球数、ヘモグロビン値、血小板数、白血球分画）、生化学検査（AST、ALT、ALP、Alb、BUN、Cre、Na、K、Cl、P、Ca、Bil、LDH、 γ GTP、PT-INR、APTT、D-dimer、副甲状腺ホルモン）、尿検査、尿中アミノ酸分析

画像診断（CT、MRI、単純レントゲン、MIBIシンチ）

治療方法

手術内容：手術時間、手術回数、総エネルギー、術後合併症Clavien-Dindo分類

治療の有害事象

無再発期間

食事内容、喫煙歴、飲酒歴

■ 外部への試料・情報の提供

データの提供は電子的配信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。

■ 研究組織

研究代表者：浜松医科大学 泌尿器科学講座 助教 渡邊恭平

共同研究機関：磐田市立総合病院 泌尿器科 水野卓彌

聖隷三方原病院 泌尿器科 古瀬 洋

遠州病院 泌尿器科 海野智之

浜松医療センター 泌尿器科 永田仁夫

中東遠総合医療センター 泌尿器科 松本力哉

藤枝市立総合病院 泌尿器科 伊藤寿樹

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
古瀬洋、泌尿器科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971